

情報科学科の概要

学科改組の趣旨

情報科学科は、ソフトウェア工学系教員の新規採用1名と工学系科目の強化を行うことで、理工学部の基盤となる情報科学分野の教育を担う。また、計算システム科学、ソフトウェア科学、数理情報学の各分野において、数理的基礎力を重視した専門知識を体系的に修得させることを目指し、高度情報化社会の急速な発展に対しても、修得した知識や技能を活かして数理的・論理的かつ柔軟に解決し活躍できる人材の育成を目指す。また、地域の教育界への教員養成(高校の情報)による貢献を含め、社会における様々な理系分野で活躍できる人材も育成する。

計算システム科学

コンピュータアーキテクチャ、オペレーションシステム論、デジタル回路、情報ネットワーク論などに関する基礎的概念と専門知識を学び、コンピュータの構成や原理について基本から深く学ぶ。

ソフトウェア科学

プログラム言語論、アルゴリズムとデータ構造、ソフトウェア工学、データシステムなどに関する専門的な知識を実践的に学び、さらにプログラミング演習などを通じてICTシステムの開発・運用で活躍できる能力を涵養する。

科目構成と教育内容

数理情報学

数値解析、離散数学、情報理論、情報解析学などに関する基礎的概念および専門知識を学び、その学習を通して論理的思考力を身に付け、社会の様々な分野で力を発揮できる人材の育成を目指す。

募集人員(30名)

推薦入試
前期入試
・数学受験
・物理受験
・情報受験
後期入試
社会人入試
3年次編入

養成する人材

数理的基礎力、および、情報科学に関する専門知識を身に付け、論理的思考力、問題解決能力を駆使することにより、高度情報化社会における様々な分野で活躍できる人材を育成する。

卒業後の進路

電気情報関連製造業(電気メーカー、情報機器メーカー、機械メーカー、ソフトウェア会社など)、教育関係(教員や専門学校など)、公務員(国家公務員・地方公務員)、金融関係(銀行など)、大学院進学など。

アドミッション・ポリシー

コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミングなどに興味をもち、情報科学の広範な学問分野を学び高度情報化社会で活躍したい学生。また、数学や物理が好きで、さらに情報科学を自主的に学んできた学生や、情報科学を核として学びつつ数学や物理学についても知識を広めたい学生を求める。

カリキュラム・ポリシー

情報科学科では、情報科学、情報工学の「計算システム科学」、「ソフトウェア科学」、「数理情報学」分野に関する知識及び情報処理能力を涵養し、その学習を通して論理的思考力を身に付け、さらには高度情報化社会で活躍できる人材を育成するためのカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

計算システム科学、ソフトウェア科学、数理情報学の各分野における専門知識を体系的に修得し、数理的・論理的な判断ができ、情報倫理に基づいてハードウェアとソフトウェアに関する専門知識を適切に活用できる能力を涵養する。